



Be a gift to the world

2015-16年度 国際ロータリー第2790地区(千葉県)

ガバナー月信

地区行動目標：原点を知り、考える

2015年 **9** 月号発行／2015年9月1日 **VOL.3**

COPY FOR MEMBERS

基本的教育と識字率向上月間



IMを終えて公式訪問に

7月13日に始まり8月4日まで、地区内全13分区での連続IM、90分卓話を終える事が出来ました。最初はこのようなIMの開催さえ危ぶまれましたが、ガバナー補佐（AG）、ホストクラブの方々のご尽力や分区内クラブの皆さまのご理解により無事終える事が出来ました。終わってしまうと一抹の寂しさも感じます。形式や話の内容に対して厳しいご批判も受けましたが、私はやってよかったと思っています。

全分区を廻らせて頂いて、我が2790地区のどこに於いても各クラブが真面目に、一生懸命にロータリー活動に取り組んでおられる事を認識する事が出来ました。

IMは1914年にアメリカの西海岸の2つのクラブが交流したことに始まったと言われております。それ以後、都市連合会として近隣都市クラブの交流の手段として続けられました。しかし1969年にロータリーの正式行事から外され、

今は開催するか否か、その形式などはガバナーが決める事になりました。

年度当初に全分区でIMを行う構想はガバナーエレクト（GE）になって間もないころに考えました。全ての分区でガバナーが同じ話をする事でロータリーの最も初歩的な一定の認識を持って頂きたかったからです。これがロータリーに興味を持つきっかけになり、自分で調べて考えて頂きたい。それが地区内の活性化に繋がり、やがてはガバナー候補が増えるようになれば……。これが私の最終の願いです。意識の活性化とガバナー候補が多く出る事は双方向関係です。是非3年後、4年後にガバナーとなる人の推薦が多くのクラブから出る事を願ってやみません。今はクラブ公式訪問の最中です。

国際ロータリー第2790地区
2015-16年度ガバナー櫻木 英一郎
(千葉RC)



月信はガバナーの私信か？

国際ロータリー第2790地区
2015-16年度ガバナー 櫻木英一郎
(千葉RC)

■本当に私信だろうか？

先月号ではガバナー月信の起源を探ってみました。今月号では、従来よく言われる「月信はガバナーの私信」を考えてみます。日本語で私信と言う言葉の意味を考えると、私的な事を書いた手紙、個人的な内容の書簡などのいくつかの意味が考えられます。そして、ガバナーの私信だから月信はガバナーの自由裁量の発刊物で、個人的な事や感想なども書いてもよいものだという意味合いで解釈がされているのではないのでしょうか。本当にそれでいいのでしょうか？

■英語と日本語と漢語

ロータリーでは元々の言葉や文章はもちろん英語です。だからロータリーの事を考えるのには英語から考えないと正確な理解は出来ません。処が、英語から日本語に変えるときにどうしても英語が持つ意味の全部を表す事は難しいのです。特に日本語が漢語を使う場合は。

日本の大和言葉は実に繊細であり、多少のニュアンスの違いでも違う言葉を当てて表現します。例えば、サクラが散るのもハラハラと散る、花吹雪、花流し、花の雨、こぼれ桜などと非常に美しい言葉が用意されています。しかし、漢語で表現すると落花です。つまり、漢語は多くのニュアンスを包括した言葉なのでその場に応じて読む側が意味や背景を感じ取る事が求められます。

■プライベートかパーソナルか

では、ガバナーの「私信」はどうか？私信を英語で考えると①「private letter」か②「personal letter」が考えられます。その両方とも私信という訳で納得できます。しかし、①「private」と②「personal」とでは大いに意味が違います。①「private」は家庭事情とか、個人の考えとかの私的な内容であり、反対語は公式、officialでしょう。②「personal」は特定の個人や団体に宛てたものという意味で、反対語は一般不特定多数、publicでしょう。ではガバナー

月信の「私信」はどちらが相応しいでしょうか？勿論、②「personal」の特定の個人や団体に宛てたものです。これは先月号で書きました。月信は本来はガバナーから各クラブの会長と幹事に宛てた情報発信と連絡の為のものであり、駅の売店で不特定多数に販売する月刊誌ではありません。

■パーソナルな手紙

つまり、月信は地区内クラブと言う特定の団体に宛てて発刊するものです。地区予算で発刊するからには内容は当然、地区としての公的なもので、決してガバナーが自由にしてよい私的なものではありません。

■レターがコミュニケーションに

先月号で、月信の英語は従来はGovernor's monthly letterだったと書きました。しかし、2013年版の手続要覧には月信はGovernor's monthly COMMUNICATIONという言葉になっています。RIが上記の日本語の誤解を意識したとは思えませんが、RIは一方通行のletterから双方通行のcommunicationに変えたのでしょう。だから本年度は英語のタイトルをGovernor's monthly communicationに変えました。月信を読む地区内の皆様も、地区の月信委員会もこのcommunicationを考えて皆が利用できる月信にして頂きたいと思います。

■大事なことは

従来言われていることに何も疑問を持たず、考えもせずに安易に一般に流布している通りの解釈をすると正しい理解が出来ません。日本語になったロータリーの言葉や文章にはこのような危険性が沢山あります。こういう事の指摘も本年度の地区の理念研究委員会に期待するところであります。



ガバナー月信へ寄せて

青少年奉仕委員会
統括委員長 鷗沢 和広
(千葉若潮RC)

皆様ご存じの通り2790地区の青少年奉仕委員会は四つの委員会で構成されております。四つの委員会はそれぞれのプログラムのもと、独自の委員会運営を行っています。青少年の健全育成は勿論のこと、若きロータリアンの卵を大切に育て、次世代のロータリアンの育成の一翼を担って行くことが出来ればと考えております。その為に、各委員会はお互いに連携を深めて同じゴールを目指して行きたいと思っております。

以下、櫻木ガバナーより目標を提起して頂いております。「既存の事業の継承でも、ロータリーの青少年活動の意味合いと目的をしっかりと意識して欲しい」そして、「事業をこなすだけの委員会ではない」というメッセージがございますのでくれぐれも宜しくお願い致します。

ご承知のように、ロータリーの青少年奉仕は単なる若者支援ではないし、単なる留学支援団体でもありません。ロータリーの青少年を対象とした活動の始まりは結構古いです。その当時は社会が安定していなかったので非行に走る若者が多かった。よって、青少年の健全育成が大きな目的でした。でも、その当時（1920年代）からロータリーの青少年活動はロータリーの精神を若者に伝える事でした。これが今に至ってもロータリーの青少年奉仕の原点だと思えます。

よって、具体的には

1. ロータリーの精神や考え方を青少年に伝える事（昔から）
2. 未来のロータリアンを育成するという意識を持つこと（最近特に強調される）
3. 青少年活動を通して委員会のメンバーがロータリーを学ぶこと

（則、青少年に教えるからには、或は、教える事を通してロータリアンがロータリーの精神を学ぶこと）を強調して頂きたいと考えます。



第39回RYLAセミナーにご参加を！

RYLA委員会
委員長 黒岩 靖之
(君津RC)

RYLA(ライラ)とは、ロータリー青少年指導者養成プログラム(Rotary Youth Leadership Awards)の頭文字のことで、青少年のリーダーシップと人格の養成を目的に、地域を担う未来のリーダーの集中研修プログラムです。1959年にオーストラリアのクイーンズランドで初めて開催され、1971年に国際ロータリーが正式プログラムとして採用し、以来、世界中のロータリークラブや地区で実施されています。2016年の規定審議会でも「ロータリーの目的」の第5項に青少年奉仕の項目が加えられることになっています。日本では1976年に当時の第366地区(大阪・和歌山)でスタートし、当地区では1978年11月に第1回セミナーが開催されました。今回で39回目になります。

当地区のRYLAセミナーは、毎年約100名の参加者(16歳～30歳の青少年とロータリアン)、および約30名の主催者側とで、一泊二日のセミナーが開催されます。セミナーの内容は、青少年とロータリアンが一泊二日の間、寝食を共にし、共に思考し、共に討議し談笑しながら心の触れ合い通して、青少年は知恵とリーダーシップを身につけ、ロータリアンは自分自身を高める修練の場となります。以前はINドアでの講話や討論会の手法でしたが、ここ数年は「歩行ラリー」を教材とした手法で行っています。

「歩行ラリー」でいったい何を学ぶのか？ 個人(ペア)の頭脳と体力を使うサバイバル戦の勝ち負けを競うゲームですが、それだけではなく、参加者全員が手渡されたコマ図を、一人ひとりの思い込み、考えや意見、気付いた法則等をいかに仲間同士討議し一つに纏められるか。さらにそれらを実証し、間違いを訂正し確認して行く過程をチーム全体で「共有」出来るか。この過程を通して、グループの素晴らしさ、チームワークの大切さを理解し、各人がリーダーシップを養って行きます。そして、その学んだことを地域社会や職場に持ち帰って役立ててもらうことです。

今年度のRYLAセミナーは、11月14(土)15(日)に、「船橋市立一宮少年自然の家」にて開催します。今回も「歩行ラリー」を行います。外部講師を招いての基調講演も予定しています。

国際理解が求められている現在の日本、RYLAセミナーには外国人留学生も多数参加します。留学生たちとの交流を深め、相互理解と親睦の場となることを期待します。

ローターアクト、インターアクト、青少年交換、米山奨学生、および会員子弟等のロータリー関係者はもとより、広く次世代を担う若者の参加をお願い申し上げます。

皆様のご理解とご協力を宜しくお願いいたします。



ガバナー月信へ寄せて

ロータリー青少年交換委員会
委員長 佐藤 孝彦
(浦安RC)

青少年交換の目的：高校生が「親善大使」として、留学又は短期滞在することにより、国際理解、異文化圏の人々と分かち合いの精神を学ぶプログラム。

(語学研修ではありません)

青少年交換は2つのプログラムがあります。

長期交換プログラム：1学年間の留学（出発時15～17才）

短期交換プログラム：それぞれ1カ月程度の双方での滞在（出発時15才～18才）

長期交換

*派遣期間：10カ月～1年間

*派遣先：北米、中南米、欧州など 3名以内

●重要なポイント：長期交換を希望する生徒にとって、必須条件は自分のスポンサークラブを確定することです。長期交換を希望する生徒はスポンサーになってもらえるロータリークラブが無ければ試験を受ける資格がありません。会員数が20名以下のクラブにとって、長期交換生のスポンサークラブになることは財政的に難しいと思われます。(地区からも年間少なくとも40万円程の補助金は支給されますが、スポンサークラブは100万円近くの予算を立てる必要があります)

●各クラブへお願い：長期交換生のスポンサーになって頂けるクラブがありましたら青少年交換委員会までご連絡頂きたい、よろしくお願い申し上げます。

短期交換

*手続きが簡素で、スポンサークラブの負担も少ない。

*派遣先：アメリカ・欧州など 10名以内

*派遣内容：相互交換となる家庭にホームステイし、お互いにその家庭の一員として1カ月近く生活を共にする。

交換期間はそれぞれ約1年間と約1カ月間ですが、毎月のオリエンテーションは、選抜試験後、派遣約1年前から始まり、ロータリー活動についての紹介から、人前での話し方、英語でのプレゼンテーションのノウハウ、日本文化の紹介等を勉強し、帰国後は帰国報告会を開催します。ROTEXという帰国後の学生組織があり、派遣候補生の指導に当たります。

青少年交換は青少年育成を通し、クラブを活性化する有用な手段となる。

長期交換はクラブ負担が大きいが、ロータリーならではの成果、意義は絶大である。

短期交換はクラブが負担が少なく、小クラブでも実施可能である。

委員会の今後の課題

青少年交換は、実施において、相手国に対して責任が生じ、事務レベルの継続的で正確な管理を必要とします。交換実績から勘案して、専属の事務局設置は不可能と思われますが、継続して対応して下さる事務担当の設置を強く希望します。必要によって、関東地区マルチ（東京、神奈川、埼玉、茨城、千葉）または、他地区との共同運営も有用と考えられます。



ガバナー月信へ寄せて

インターアクト委員会
委員長 中澤 良夫
(四街道RC)

インターアクト(略IAC)とは「インターナショナル」+「アクション」の造語であり、良いことを世界で行おうとするプログラムです。

RIでは12歳～18歳の青少年のためのクラブとして位置付けており、学校や地域を基盤として提唱RCにより結成され地域奉仕や国際理解に励んでおります。

現在、2790地区では高校生を対象として16のIACがRIによる認定を受けて16の高校内に有り、約200名が活動しています。(2クラブ休部中)各クラブは奉仕活動等を行ない自己を磨いています。

地区委員会では、顧問教師や提唱RCと協力して指導者講習会・合同会議をおこない、より良いIACを目指します。

大きな行事としてIAC年次大会、国外研修を実施いたします

合同会議（各インターアクト顧問教師と各提唱RC担当者）

第1回 7月14日(火) 14時～16時 千葉市民会館

第2回 9月8日(火) 14時～16時 千葉市文化センター

第3回 1月19日(火) 14時～16時 千葉市文化センター

年次総会

日時 8月27日(木)10:00～16:30

場所 茂原樟陽高等学校

ホストクラブ 茂原樟陽高等学校インターアクトクラブ

国外研修

日時 11月11日(火)～14日(土)を予定

渡航先 台湾 現地、青少年達との交流会を企画

指導者講習会

日時 5月を予定 場所 (仮)大原高等学校

ホストクラブ 大原高等学校インターアクトクラブ



ガバナー月信へ寄せて

ローターアクト委員会
委員長 櫻井 真人
(千葉RC)

ローターアクトクラブは18歳から30歳までの若者を対象にした組織で、地域社会または大学をベースにし、地元での奉仕活動を実施したりリーダーシップのスキルアップ、就職に役に立つ知識を学びながら楽しく活動しています。現在国際ロータリー2790地区には8つのローターアクトクラブが登録、5つが活動しており、3つが休会中です。ローターアクトクラブはロータリークラブがスポンサーとなり設立されますが、クラブ運営や活動資金の調達はローターアクトクラブの会員が独自に行っております。ロータリークラブと合同で活動する機会がもっと増えれば地区内の活動がより盛んになると思います。また青少年奉仕委員会内の他のプログラムとの架け橋に率先してなっていかなければならないとも思います。

2015-2016ローターアクトクラブ直前代表
山田 祐樹 (茂原RAC)



こんにちは、茂原RACの山田祐樹と申します。まずもって、国際ロータリー第2790地区内のロータリアンの皆様に感謝申し上げます。

昨年度は地区代表としてロータリーに携わり、多くの経験と出逢いをさせていただき、私の人生は変わりました。頂いたものはお返しするのが礼儀です。“Be a gift to the world!”

さて、私は今年度、直前代表というローターアクトのサポートをする立場になりました。昨年度日本全国を駆け回り、学んできたことをこの1年間で活かして参ります。青少年奉仕委員会にはローターアクトの他に、高校生のインターアクトクラブ、ROTEX・交換留学生、RYLAがあります。そしてロータリークラブを含めたロータリーファミリーとしての結束を強固なものとし、ロータリーにしかできない活動をしていきたいです！！

そのために、この場をお借りしましてお願いがございます。我々ローターアクトを知っていただく機会を頂きたいです。館山RACに所属する今年度地区代表の

湯澤章弘は地区ターゲットを【プラス1】と掲げました。大きなことではなく、昨日の自分よりも1つ、去年の自分よりも1つ成長しようという指針であります。

そこで私が掲げたプラス1は、卓話活動の強化でした。ローターアクトって何？というロータリアンは多いと思います。しかし、今年度の終わりには、ローターアクトは頑張っているな！色々な活動をしていて元気があんな！そう言っていただくために努めてまいります。RACをまずは知って(卓話をさせて)いただく。次に認めて(紹介して)いただく。最後に共に歩ませて(提唱して)いただく。これが私のプラス1です。今年度もローターアクトを宜しくお願い致します。

2015年 7 月26日

地区管理運営委員会委員長 金子 公久
(成田コスモポリタンRC)

地区ホームページの 『クラブの相談窓口』開設のご案内

この度、管理運営委員会は、地区ホームページに「クラブの相談窓口」を開設いたしました。この取り組みは、各クラブや会員の皆様のお役に立てる事を大きな柱として活動して参りますことから、各クラブの運営や活動、また会員の皆様の悩みや疑問などにお答えする事もその一環と捉えております。皆様から頂いたご相談は、管理運営委員会が相談内容に該当する地区委員会とも協議し、或は文献を調べてお答えいたします。今迄にご相談を頂いた案件を下記にご紹介いたします。

「クラブの相談窓口」 ご相談への回答について

No	タイトル	日付	形式
001	親睦と親睦活動の違いについて	2015/05/03	PDF
002	クラブ研修リーダー 1：定義と役割に標記について	2015/05/31	PDF
003	推奨クラブ委員会組織とクラブ の対応について	2015/05/31	PDF
004	クラブ研修リーダー 2：細則への表記について	2015/06/03	PDF
005	役員任期の決め方について	2015/06/23	PDF

【ご相談投稿先】

RID2790 2015-16年度地区ホームページ右側の
《クラブの相談窓口》迄
<http://www.rid2790.jp/2015/>



ガバナーエレクト就任のご挨拶

国際ロータリー第2790地区

2015-16年度ガバナーエレクト 青木 貞雄

(成田コスモポリタンRC)

本年3月にガバナーノミニーの指名を受け、昨年度月信11号（2015年5月発行）の紙上でご挨拶させていただきましたが、アツと言う間に数ヶ月が過ぎ、7月よりガバナーエレクトになりました「成田コスモポリタンRC＝成田CRC」の青木 貞雄です。改めて、宜しくお願い致します。

地区組織図でもご案内の通り、ガバナーエレクトは、どことも繋がりのない役職で、一年後のガバナーに向けた見習いというのが正式な立場ではないかと理解しています。

7月1日にグランドプリンスホテル高輪で開催された「ガバナー・元・次期ガバナー懇談会」終了後、日本の34地区のガバナーエレクトの初顔合わせがありましたが、緊張と一抹の不安を抱えながらレースのスタートラインに立った気分で、大役を引受けるにあたっての心構えを新たにしました。今後、9月及び12月の2回に亘るGETS（ガバナーエレクト研修セミナー）、及び来年1月に米国サンディエゴで開催される国際協議会等への参加を通じ、ガバナーの職責を果たすために必要な資格を得る教育を家内共々受けるのが、当面の大きな務めです。同時に、櫻木ガバナー年度のガバナー補佐・地区委員長会議、各種委員会会議、地区委員会セミナー等に参加し、今年度の活動把握・勉強に努めています。

ガバナーの任期は来年7月以降の1年間ですが、ガバナー年度に向けた運営方針の確認、地区予算の承認等を行う3大セミナー（地区研修セミナー、PETS＝会長エレクト研修セミナー、及び地区研修・協議会）は、例年通り、来年3月～4月に開催予定ですので、実態として、ガバナー年度の公式行事が来年3月よりスタートします。従って、地区幹事長予定者の藤崎 政弘、並びに地区副幹事長予定者の林 康博及び宮田 明俊等と共に、地区の組織及び人事案・予算案等の策定、並びにガバナーエレクト事務所の設営準備等に、現在、取り組んでいます。3大セミナー、地区大会等々の主要行事は、成田CRCのメンバーを中心に第9分区の皆さんの協力を得て企画・運営にあたりますが、地区研修・協議会は、ホストクラブの松戸北RCの皆さんにも御協力

をいただくこととなります。尚、地区大会を始めとするこれら行事は、千葉県内で年間1千万人以上が集まる3つのスポットのうちの2つ、即ち、成田山新勝寺及び成田国際空港（残り1つは東京ディズニーリゾート）がある成田CRCの地元、成田を皆さんに知っていただくため、出来るだけ成田市で開催させていただく予定です。

ロータリーについての知識・経験が浅い私は元より、クラブ内の活動は活発でも、地区等の対外的活動に関心の薄かった成田CRCのメンバーが、当地区ロータリー活動の発展に向け、また会員の皆様にご迷惑をお掛けすることなく地区の運営を担っていくためには、今後の大いなる勉強と十分な準備が必要であると共に、当地区会員を始めとする多くのロータリー関係者の協力・支援をいただかなければなりません。

従って、ガバナーのブレイン（頭脳）及び分身として活動していただくガバナー補佐の皆様とは、運営方針の調整・確認を図る場を早い時点で設定させていただく予定です。また、来年度の地区運営基本方針を取り纏めた上で、ガバナーの手足となって地区運営にあたっていただく地区委員会委員の指名、及び委員の皆様との意思確認についても、早期に着手したいと考えています。

国際ロータリーの来年度テーマは、来年1月の国際協議会で発表されるため、地区運営方針を最終的に固めるのは国際協議会終了後となりますが、成田CRCにおける私の17年間のロータリー体験、また、地区の置かれている現状等を勘案し、ロータリー活動の主体である会員の皆さんがロータリアンになって良かったと思えるような活動の展開・追及に寄与すると共に、会員の輪の拡大を図るために、何が出来るか、そして何をすべきかを考え・実行してまい

る所存です。皆様の絶大なるご指導、御支援、そして御協力を、宜しくお願い致します。

ポール・ハリス自伝より

ロータリー理念研究委員会
大内 啓
(柏南RC)

私たちがロータリーを深く知ろうとした時、創始者ポール・ハリスの自伝はとても貴重な著書である。ポール・ハリスの価値観の根底には、幼年時代に優しい祖父母から学んだ完全、儉約、寛容、善意、無私の精神や小さな田舎町で経験した古い形の友情や隣人愛の世界が読み取れる。学生時代や卒業後5年間の放浪生活は「人はどう生きるべきか」の飽くなき探求の時代であった、人間の生き方に影響を与える動機とは？なぜ良い人と悪い人がいるのか？なぜ自分を犠牲にして人のために尽くす人がいるのか？人間は人種によってどうしてそんなに生き方が違うのか？様々な人の生き方を追求し続ける中に改めて祖父の教えに英知というものを認識する。人は、究極的には、みな「私」の事を考えて生きている。だからこそ、断ちがたい人と人との結びつきは、互いの「私」を認め合うことから始まる。その過程において親睦は有効であり重要な役割を果たす。多くの尊い経験を得たのちポール・ハリスはシカゴに弁護士事務所を開業するが、仕事が忙しくて、自分自身のことなど考える暇がない程だった、しかし日曜や休日はもの悲しい孤独感に苛まれる。そんなある日、友人の郊外の家を訪ね、夕食後、近所を散歩していると、友人は、店の前を通るごとに、店の主人の名を呼んで挨拶する。ポール・ハリスはその姿を見て、幼年時代に過ごした田舎町を思い出す。その時に浮かんだ考えは、どうにかしてこの大きなシカゴで、様々な職業からひとりずつ、政治や宗教に関係なく、お互いの意見を広く許しあえるような人を選び出すことであった。ひとつの親睦関係をつくりだせば、必ずお互いに助け合うことになるはずだと確信する。しかしポール・ハリスはこのアイデアをすぐには行動に移そうとはせずさらなる検討を重ねる。共同体はどうあるべきかの検討を慎重にかさね、自身の信念を固めるために、自らが考え出した定理に添って実験を重ね統計を取り、定理の正当性を証明し、確信に至るまでに時間を要した。急速な発展に伴い貧富の差が拡大し、加えて腐敗政治の蔓延や利己主義や商業道德の欠如が目立つシカゴの現状に、お互いに信頼できる者同士が集まって公正な取引を切望した。仕事上の付き合いがそのまま親友関係にまで

発展するような仲間を増やしたい、という趣旨のもとに1905年2月、ロータリークラブが誕生した。公正な取引は信頼感を深め、また対人関係においては「条件を伴う信用」ではなく「他者を信じるにあたって、いっさいの条件を付けない信頼」により、より深い友人関係へと発展した。一業一人の相互扶助と親睦を目的としたクラブは、いわば自利を目的としたクラブではあったものが、会員同志で進められる公正な商取引や会員の「寛容で親睦と友情」に満ちた姿は、社会に大きな影響を及ぼし、自分もそう有りたいと望む垂涎的となる。釈迦の教えのように「親鳥が、餌を取るところを子供に見せ、子供にも同じ方法で餌を取るように教える」といった、自利の活動が結果的に利他につながる善行として注目を集めることになった。日本のロータリアンが共感するのは、こんな心情の源泉があるからだろうか？形式ばったことや、わざとらしいことは傍らにどけておいて、地位や身分に関係なく、人々が同じ平面でつきあいをするロータリー独特の雰囲気の中で友情はますます深まってゆく。ポール・ハリスは「縦の人間関係」を否定し、すべての対人関係を「横一線の関係」として築いていくことを提唱し、とかく他者の注目を集め「特別な存在」になろうとする「安直な優越性の追求」を戒めてくれている。「人はどうすれば幸せに生きることが出来るか」という哲学的な問いに対し、共同体において、人は、感謝の言葉を他者から聞き、自らが他者に貢献できたことを知るのです。あらためて自らの価値を実感でき、「わたしはここにいてもいいのだ」と自信がもてた時こそ、真の孤独感から解放されるということだろうか。ポール・ハリスの苦悩があったからこそ、ロータリー精神が確立され時代を超えて継承されているように思える。

参考文献

抜粋 ロータリーへの私の道 (ポール・ハリス著)

第2790地区ロータリー理念研究委員会
海寶勘一 (千葉西)、平山勝巳 (千葉若潮)、
大内 啓 (柏南)、島 正彦 (館山)、松田泰長 (成田)

ロータリー広報実績の集積について

RI Zone 3 RPIC 岩永 信昭

ラビンドラン RI 会長は戦略計画3つの優先項目のひとつ「公共イメージと認知度の向上」に関して、各地区、クラブに以下の目標を掲げておられます。

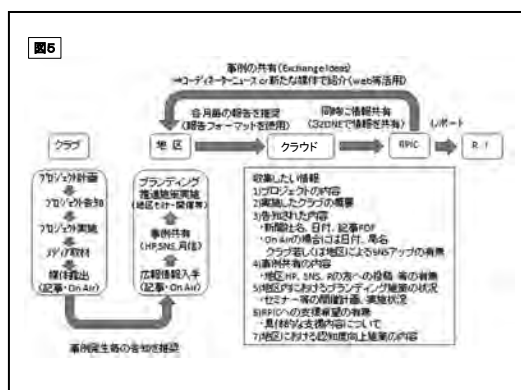
1. 地元メディアによる報道の推進
2. ボイスとビジュアルアイデンティティの導入促進
3. デジタル媒体やソーシャルメディアの活用推進

それぞれについてクラブレベル、地区レベルで取り組むべき具体的活動指標は図1～3の通りです。（目標2に対するガイドはRI ホームページから入手できる図4に示すものです）



まずは目標1から取り組んで下さい。ロータリーが地域社会で行っている事をしっかりと伝える必要があるのです。我々は今までともすればその点には無頓着であり、またそうする事がロータリーらしさと考えていたくらいがあったのではないのでしょうか。

さらにこれらの広報実績をジャパンデータとして集積すべく図5のシステム構築を計画中です。



今後 渡辺敏彦 Zone 1 RPIC、高野孫左門 Zone 2 RPIC と協働し、できるだけ早くしっかりとしたシステムを作り上げお示ししたいと考えています。現時点では上記の目標1に関する実績を地区で集積しておいて下さい。

皆様のご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。

文 庫 通 信 (335号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

「貴重な古文庫」

- ◎「YOKOHAMA」 PAUL P. HARRIS 1935 11p (PEREGRINATIONS vol II)
- ◎「今は昔」 米山梅吉 1923 4p (提督ベルリ)
- ◎「八十五年前の日本」 米山梅吉 1938 52p (看雲録)
- ◎「かたみの文ー伊豆山寺の一夏」 米山東一郎 米山梅吉編 [1921] 18p (東一郎)
- ◎「八十七日 (米山梅吉歌集)」 米山梅吉 1922 92p
- ◎「何故ニ 漢字ヲ ヨクナイカ」 星野行則 1924 12p (國字問題ー漢字ヨリノ解放)
- ◎「感謝観念」 星野行則 1943 6p (私ノ心理生活)
- ◎「ガバナー告辞」 星野行則 大阪R.C. 1952 6p (国際ロータリー第60区大会記録)
- ◎「ロータリー大會に際して (ラヂオを通じてロータリアンの講演放送)」 村田省蔵 1934 8p
(ロータリー第七十区第六年次大会記録)
- ◎「追憶談」 下村海南 津島純平編纂 1950 6p (平生釵三郎追憶記)

[上記申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15黒龍芝公園ビル 3 階 TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506
<http://www.rotary-bunko.gr.jp> 開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日

(公財)ロータリー米山記念奨学会ニュース (ハイライトよねやま185号)

～今月のトピックス～

- ・寄付金速報ー 2015-16年度も好調にスタート ー
- ・来春採用の奨学生募集がスタート
- ・さまざまな寄付のカタチ ー 大学の共同研究者から ー
- ・ネパール復興支援に心を合わせて ー 関西学友会総会 ー
- ・米山漬けの一日 ー 第2680地区米山奨学セミナー ー

【お知らせ】

- ◆2015-16年度よねやま親善大使の紹介DVDが完成！※当会HPからも視聴可能
- ◆ネパール大地震義援金の受付は、8月31日当会着金分にて終了します。

トピックス詳細につきましては、下記アドレスにてご覧ください。
http://www.rotary-yoneyama.or.jp/summary/pdf/highlight185_pdf.pdf

《今月のピックアップ記事》

来春採用の奨学生募集がスタート

2016年4月採用の新規奨学生募集が始まりました。各地区の米山奨学委員会からの報告により決定した指定校は全国で528校（前年度533校）、指定校からの被推薦者数は1,643人（前年度1,644人）で、この中から新規奨学生約540人が選ばれます。

地区奨励奨学金（大学・大学院以外の教育機関在籍者が対象）を導入した地区は13地区で、指定校は過去最多の26校、そのうち6校が初指定となりました。

また、指定校への要望として、地区独自の推薦基準を提示したのは34地区中30地区でした。最も多かった要望は、被推薦者の国籍が偏らないよう配慮して欲しいというもの、次いで、「ロータリー活動への積極性」「日本語運用能力」などが挙げられました。

※2016学年度採用の指定校や募集要項などの書類は当会ホームページにて公開しています

寄付者紹介 (敬称略)

ロータリー財団寄付 年次寄付 (マルチプル・ポール・ハリス・フェロー)



石橋菊太郎
(成田 R C)
6 回目



齊藤三智夫
(成田 R C)

米山功労者



白鳥 政孝
(市原 R C)
20 回目
メジャードナー



得居 仁
(松戸東 R C)
14 回目
メジャードナー



設楽 正行
(成田 R C)
8 回目



植草 一男
(千葉中央 R C)
7 回目



大岩 將道
(銚子 R C)
6 回目



有村 忠
(市川南 R C)
3 回目



小寺 真澄
(成田 R C)
2 回目



細田 昌男
(松戸西 R C)
1 回目



上野 聡
(市原 R C)
1 回目

新ロータリアン (敬称略)



池田 孝
(柏南 R C)
不動産鑑定士
7 月 1 日入会



山本 宏子
(船橋東 R C)
弁護士
7 月 2 日入会



中西 大晃
(千葉港 R C)
建設業
7 月 2 日入会



渡辺 昇一
(富津中央 R C)
住宅建設
7 月 2 日入会



竹内 孝興
(茂原 R C)
歯科医
7 月 2 日入会



磯野 典正
(勝浦 R C)
建設業
7 月 3 日入会



三上 直哉
(勝浦 R C)
建設業
7 月 3 日入会



中村 吉政
(勝浦 R C)
不動産業
7 月 3 日入会



田中 由夫
(野田東 R C)
人員派遣
7 月 3 日入会



穴倉 正胤
(茂原中央 R C)
外科医
7 月 7 日入会



角畑 博文
(松戸 R C)
地方銀行
7 月 8 日入会



花香 勲
(小見川 R C)
住宅建築業
7 月 8 日入会



永井 哲哉
(小見川 R C)
商業銀行
7 月 8 日入会



中村慶太郎
(佐倉 R C)
食品加工卸
7 月 9 日入会



芝崎喜久男
(野田東 R C)
農業協同組合
7 月 10 日入会



土田鋼太郎
(千葉 R C)
電気事業
7 月 13 日入会



松木 彰
(千葉 R C)
移動通信
7 月 13 日入会



本田 真郷
(市川東 R C)
弁護士
7 月 14 日入会



内山 邦俊
(茂原中央 R C)
管工事業
7 月 14 日入会



細谷 達明
(銚子東 R C)
地方銀行
7 月 14 日入会



奥村 祐二
(松戸 R C)
電気工事
7 月 15 日入会



望月 庄子
(佐倉 R C)
教育相談
7 月 16 日入会



大島 剛
(千葉幕張 R C)
防犯設備施工販売
7 月 21 日入会



放生 知晃
(千葉幕張 R C)
司法書士
7 月 21 日入会



藤森 伸一
(千葉 R C)
鉄道輸送
7 月 27 日入会



吉開真一郎
(千葉 R C)
全国放送
7 月 27 日入会



小川 泰規
(袖ヶ浦 R C)
火力発電
7 月 27 日入会



藤澤 朋
(柏 R C)
電気通信事業
7 月 29 日入会



笹子 恵一
(成田 R C)
空港管理
7 月 31 日入会



大塚 洋
(成田 R C)
空港管理
7 月 31 日入会

R I 第2790地区（千葉）2015年7月出席・会員数報告

区分	クラブ名	出席率 %	例会 数	会員数				
				7/1	女	当月	女	増減
第1区分	市川	100.00	5	39	0	40	0	1
	市川東	100.00	4	41	0	42	0	1
	市川南	80.13	4	16	2	16	2	0
	浦安	90.80	5	35	1	35	1	0
	市川シビック	86.14	3	36	0	36	0	0
第2区分	浦安ベイ	68.75	4	16	0	16	0	0
	船橋	90.63	4	23	0	24	0	1
	船橋西	90.09	5	41	7	42	7	1
	鎌ヶ谷	83.55	5	29	2	32	2	3
	船橋東	79.50	5	28	1	29	2	1
第3区分A	船橋南	87.50	5	14	2	14	2	0
	船橋みなと	83.82	4	17	4	17	4	0
	千葉	86.10	3	66	1	69	1	3
	新千葉	80.31	5	50	0	50	0	0
	千葉西	79.09	4	59	4	60	4	1
第3区分B	千葉中央	83.95	4	37	0	37	0	0
	千葉幕張	77.74	4	35	2	37	2	2
	千葉東	76.57	3	31	3	33	3	2
	千葉若潮	72.86	5	30	1	32	1	2
	千葉南	77.86	5	49	6	49	6	0
第4区分	市原	72.68	5	41	2	41	2	0
	千葉港	71.73	4	21	2	21	2	0
	市原中央	84.62	4	47	2	47	2	0
	千葉北	77.80	5	21	1	21	1	0
	千葉緑	90.96	4	25	0	25	0	0
第5区分	木更津	81.98	5	27	3	27	3	0
	上総	71.76	5	17	0	17	0	0
	富津	60.00	4	9	0	9	0	0
	富津中央	87.50	4	26	1	27	1	1
	木更津東	81.78	4	42	0	42	0	0
第6区分	君津	92.72	3	43	1	44	2	1
	袖ヶ浦	97.03	3	23	3	24	3	1
	富津シティ	73.34	5	14	1	15	1	1
	館山	88.15	5	56	3	55	3	△1
	鴨川	95.84	3	33	7	33	7	0
第7区分	勝浦	91.70	4	33	4	36	4	3
	千倉	82.50	4	10	2	10	2	0
	鋸南	89.90	4	14	1	14	1	0
	館山ベイ	71.05	4	20	0	20	0	0
	茂原	88.39	4	64	3	64	3	0
第8区分	東金	81.90	4	22	1	22	1	0
	大原	82.14	5	12	1	11	1	△1

区分	クラブ名	出席率 %	例会 数	会員数				
				7/1	女	当月	女	増減
第6区分	大多喜	75.00	4	6	6	6	6	0
	成田空港南	89.18	4	37	0	39	0	2
	茂原東	85.70	4	22	3	22	3	0
	茂原中央	85.00	4	13	2	15	2	2
	大網	78.83	6	29	1	30	1	1
第7区分	東金ビュー	70.00	5	20	1	20	1	0
	銚子	84.43	5	44	4	44	4	0
	旭	64.22	3	43	2	43	2	0
	八日市場	92.76	4	38	2	38	2	0
	銚子東	77.73	4	39	2	38	2	△1
第8区分	佐原	84.00	5	47	0	47	0	0
	多古	64.01	4	14	0	14	0	0
	小見川	91.30	4	22	0	22	0	0
	佐原香取	73.91	3	25	1	25	1	0
	成田	86.30	5	61	0	62	0	1
第9区分	八街	91.00	4	30	1	32	2	2
	印西	90.29	4	23	0	23	0	0
	白井	76.80	3	23	0	23	0	0
	富里	83.26	4	27	0	27	0	0
	成田コスモポリタン	72.99	4	68	0	68	0	0
第10区分	柏	77.30	5	51	10	52	10	1
	我孫子	84.70	4	24	1	24	1	0
	柏西	89.72	5	62	5	63	5	1
	柏東	97.93	5	29	3	29	3	0
	柏南	84.70	4	33	4	33	4	0
第11区分	習志野	82.91	5	27	1	27	1	0
	八千代	86.50	5	46	0	46	0	0
	佐倉	61.84	4	18	2	20	3	2
	八千代中央	88.07	4	28	1	29	2	1
	四街道	81.95	4	23	2	25	2	2
第12区分	習志野中央	82.30	4	47	6	48	6	1
	佐倉中央	63.00	5	19	3	20	4	1
	松戸	90.32	4	57	0	59	0	2
	松戸東	90.06	5	46	0	46	0	0
	松戸北	78.36	4	37	0	37	0	0
第13区分	松戸中央	90.40	5	39	6	42	6	3
	松戸西	81.67	4	30	0	30	0	0
	野田	86.21	3	58	8	58	8	0
	流山	81.25	5	16	4	16	4	0
	野田東	79.82	3	31	0	32	0	1
第14区分	流山中央	82.00	4	22	2	22	2	0
	野田セントラル	86.67	5	24	0	24	0	0

物故会員（敬称略）



野田 進（我孫子RC）
逝去日：2015年2月15日（享年65歳）
入会日：1991年8月6日



飯田 義男（館山RC）
逝去日：2015年7月3日（享年97歳）
入会日：1958年8月20日
ロータリー歴
1968-1969 クラブ会長
1975-1976 区分代理



秋葉 博行（成田RC）
逝去日：2015年7月20日（享年67歳）
入会日：1992年9月1日
ロータリー歴
2009-2010 クラブ会長
2006-2007 クラブ幹事

クラブ数 84RC

2015年7月1日
2015年7月末日
2015年7月1日
2015年7月末日
当月平均出席率
増減
女性会員増減

地区会員数 2,711人
地区会員数 2,755人
地区女性会員数 157人
地区女性会員数 163人
83.67%
+44
+6

9月のロータリーレート

124円

広報のひろば

みなさん、こんにちは。暑い日が続いておりますがいかがお過ごしでしょうか？今年度も始まったと思ったらあっという間に9月になり各クラブなどでも活動が本格的にスタートし始めたのではないのでしょうか。広報のお手伝いが必要でしたら地区広報ITイメージ委員会にご連絡ください。

今月は“地区奉仕プロジェクト委員会”のみなさんをご紹介します。



地区職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕委員会のみなさんです

地区IT広報公共イメージ委員会セミナー開催しました



セミナーの後半は千葉銀行広報CSR部の方に広報について講演いただきました。



地区IT広報公共イメージ委員会のFacebookを開設しました。

地区のホームページをご覧になったことがありますか？

こちらにも各クラブのロータリーデーや奉仕活動の報告ページがあります。ぜひご覧ください。掲載希望のクラブは写真と文章をガバナー事務所までメールで送ってください。詳しくはガバナー事務所までご連絡ください。

<http://www.rid2790.jp>

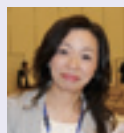


幹事長と委員長のつぶやき



嘉規：各分区のIMにて地区奉仕プロジェクト委員会の発表の機会をいただきました。みなさんありがとうございました。

梶原：3つの大きな委員会をまとめて総括委員長として1年間がんばってください！



大谷：私もがんばります♪

このページは地区IT広報公共イメージ委員会を担当しています。何かございましたら気軽にご連絡ください♪

090-1453-5825 委員長 大谷京子
kyoko@ohkei.co.jp